

どこかで見かけた  
いつもの顔

# 東京メタループの住人

●サハ205は、埼京線からの転属車(ドア窓大形)を組成。

- 京葉車両センターM34編成を製品化。
- 中間車 モハ205は、VVVF改造を受けた床下機器を再現。
- 中間車サハ205は、埼京線から転属してきた、**ドア窓の大きいタイプ**を再現。
- サハ205を除く6両は、山手線から転属して来た**ドア窓の小さいタイプ**を再現。
- LED表示の行先、運行番号用シール付き。

新登場

8月発売

昭和60年(1985)、山手線に投入された国鉄初の通勤形オールステンレスカーが205系です。

首都圏では引き続き埼京線、京浜東北線、中央・総武緩行線、横浜線、南武線などに投入されましたが、その後更なる世代交代の波と共に他線区への転属が始まり、京葉線や武蔵野線に活躍の場を移した車両もあります。転属に伴って各線区の車両を組み替えたり、VVVF化改造が施されるなど、多彩なバリエーションが見られます。



**KATO**  
PRECISION RAILROAD MODELS

## 205系5000番台 武蔵野線

細かい編成バリエーションが気になる、205系ファンに。

サハ205 ドア窓大形編成